

# 情報通信部門のシステム技術をブランド化 きんでん

## 情報通信システム技術をインフォリーノ (Inforinno) としてブランド化

インフォリーノとは同社の情報通信部門が開発に携わったシステムや、独自に構築・導入するシステムを総称する名称である。システムとしての統一感を持たせ、ブランド化することにより、独自

の情報通信システムを顧客に提供していることをアピールするところが狙いである。

インフォリーノという名称は、情報を意味する「Information」と革新を意味する「Innovation」を組み合わせた造語であり、情報通信システムの革新を表現しているという。ブランドの対象となるシステムは中央監視、電力監視、監視カメラなどで、今後は情報通信システム全般に拡大していく予定だ。

同社は情報通信部門において20年以上前から顧客ニーズに柔軟に対応した中央監視システムを納入してきており、小規模な建物から大規模複合用途施設に至るまで、さまざまな顧客に合わせたシステム構築を行い、現在までに500件を超える納入を積み重ねている。

中央監視システム「インフォリーノBA」の導入イメージ

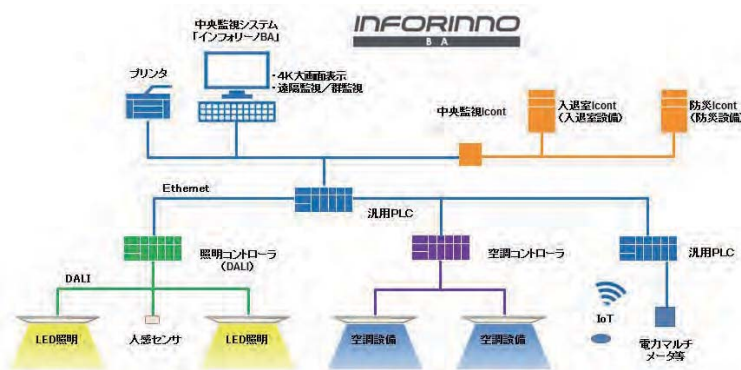


同社が現在展開している中央監視システム「インフォリーノBA (Building Automation)」は、業界でも最先端である64ビットOSを前提に開発され、4K大型モニタ表示、複数の建物を一括して監視できる群監視機能などを標準で搭載しており、多様なニーズを柔軟に反映できる高い拡張性を持つシステムだ。

現在も中央監視システムや電力監視システムの納入が順次進んでおり、エネルギー管理システムもインフォリーノブランドとしての展開を進めていくという。

中央監視システムを含むさまざまな情報通信システムに関して、高度な設計、組み合わせ(アセンブル)、カスタマイズ、メンテナンスと高い品質の確保により、メーカーが提供するシステムとの差別化を図っている。

新ブランドの下、多様化するニーズに対応可能な情報通信技術で、優れた設備と満足度の高い独自のシステムを提供するという。



中央監視システム「インフォリーノ BA」システム構成例